

令和7年度 まちづくり活動助成

公開審査会資料



令和7年6月14日(土)区役所西棟6階第5・6会議室
杉並区都市整備部管理課

杉並区まちづくり助成（令和7年度）公開審査会プログラム

【日時】令和7年6月14日（土） 10:00～12:30

【場所】杉並区役所 西棟6階 第5・6会議室

◆ 開会のあいさつ 10:00

◆ まちづくりセミナー（びぎな一コース・セミナー）
進行 杉並区まちづくり活動団体助成専門アドバイザー

◆ 公開審査会 10:50

◇審査会の進め方説明

◇応募グループの活動計画発表（発表8分・質疑応答7分）

	団体名	発表開始予定時間	資料ページ
①	すぎなみ発見クラブ	10:50	1～6
②	軒先から、こんにちは実行委員会	11:05	7～12
③	いぐさの赤い椅子	11:20	13～18
④	IKAMO 応援隊	11:35	19～22
⑤	阿佐ヶ谷の原風景を守るまちづくり協議会	11:50	23～27

◇審査

◇審査結果の発表 12:20

◇講評 杉並区まちづくり活動団体助成専門アドバイザー

◆ 閉会のあいさつ 12:30

※進行状況により開始時刻等前後することがございます。あらかじめご了承ください。

杉並区都市整備部管理課 杉並区阿佐谷南 1-15-1

Tel : 03-3312-2111（内線 3503）

令和7年5月20日

杉並区長 宛

代表者 すぎなみ発見クラブ
氏名 代表 千ヶ崎 恵美子

まちづくり助成金交付申請書

杉並区まちづくり助成要綱に基づく助成金の交付を受けたいので、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

団 体 名	すぎなみ発見クラブ
事 業 期 間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
助成区分 (該当するものに○を付けてください。)	びぎなーコース ・ ○すてっぴコース じゃんぷコース ・ 協議会助成金
助成金の使用目的 及び事業内容	<p>●助成金の使用目的 主に広報活動費（フリーペーパー等の制作費）、映画上映会や勉強会等の開催費用</p> <p>●事業内容 杉並区民の健康意識を高め、病気や精神疾患の原因の一つである食と健康に関する啓蒙活動を行うため、健康食マップの作成、フリーペーパーの発行、料理教室の開催、映画上映会などを実施。また、杉並や日本の文化について、ワクワクするような情報発信や勉強会を開催。その他にも、メンバーが考える杉並区民の健康と明るい生活のための活動を様々な分野で行っていく。</p>
事業に要する総費用 予定額	7万円
助成金交付申請額	7万円
まちづくり協議会 認定年月日	年 月 日（協議会助成金のみ記入してください。）
添付書類	<p>(1) 規約・会則（びぎなーコースのみ提出してください。）</p> <p>(2) 構成員の名簿</p> <p>(3) 収支予算書</p> <p>(4) 事業予定書</p> <p>(5) その他（「すぎなみ発見クラブ通信 Vol.4」ほか）</p>

構成員の名簿

団体名称 及び	ふりがな 名称 すぎなみ発見クラブ		
	事務所所在地 (事務所ある 場合のみ)	〒 所在地	Tel. Fax.
代表者	ふりがな 氏名 千ヶ崎 恵美子		
	住所*	Tel. *	
メールアドレス*			
連絡先	ふりがな 氏名		
	住所* 〒	Tel. *	
メールアドレス*			
活動メンバー	氏名	グループの役職	職業等*
	千ヶ崎 恵美子	代表	
	藤田 弦	副代表	
	南 美保子	副代表	
	足立 貴代子	会計	
	山崎 美津留		
	斉藤 嘉代		
	西口 直美		
	市橋 礼子		
	又賀 一美		
	内田 民枝子		
	吉田 和		
メンバー以外 の協力員等	友人・知人関係で、数名		

《注意》 すてっぴコースの申請書は、公開審査会で資料として配布します。
*印の欄については非公開とします。

収支予算書

《収 入》

内 訳	金 額
会 費	
杉並区まちづくり助成金	70,000円
他からの助成金	
合 計	70,000円

《助成金に係る支出》

実績報告書の提出時に領収書を添付する必要がありますので、ご注意ください。

内 訳	内 容	金 額	費用合計金額
(1) 学習活動費 講師謝礼、 学習会資料作成費、 会場使用料など	勉強会等の会場費	3,000 円	3,000 円
(2) 広報活動費 パンフレットや ニュース、報告書等 の作成費	すぎなみ発見クラブ通信印刷費	50,000 円	50,000 円
(3) 事務運営・ 事業実施費 団体運営や事業実施 に必要な消耗品や備 品の購入費、郵送 など	フリーペーパーの郵送費	17,000 円	17,000 円
	合 計		70,000 円

※上記の費用の考え方

- (1) 学習活動費：講師謝礼、資料作成、会場使用などに要する経費
- (2) 広報活動費：パンフレットやニュースの発行などに要する経費
- (3) 事務運営費：団体の維持運営に必要な消耗品・備品の購入、郵便などに要する経費
事業実施費：事業に必要な消耗品購入、会場使用などに要する経費

事業計画書

活動内容	※詳細に記入してください。必要に応じて、図表、地図、イラスト、写真等の添付や、印刷物等の資料を提出いただいても結構です。
1. 杉並健康食マップ（お店編・レストラン編）の普及活動	<p>一昨年・昨年に制作した杉並区内の健康食を扱うお店のマップ（お店編とレストラン編）を普及する活動を更に進めます。今年度は、特に子育てママさんへの配布に力を入れて、メンバーの近所の保育園などで配布していただけるようお願いをしていきます。既にいくつか、食育に力を入れている保育園に置かせていただくことができました。</p>
2. フリーペーパー「すぎなみ発見クラブ通信」の発行	<p>毎年2号の通信を発行し、杉並区内の自然食品店などの取材を通じて、食と健康についての考え方を発信するとともに、健康情報や杉並の文化・歴史に関する情報など、会員が独自に学び、発見した情報を発信して参りました。今年度も引き続き、杉並区民の食を守るお店の紹介や、区民の健康と幸福に役立つ情報を発信してまいります。</p>
3. 料理教室の開催	<p>毎回好評で、新しいメニューの料理教室の開催を告知すると、すぐにサポート会員さんで満員になってしまうことが多くなりました。単なる料理教室の枠を超えて、参加者同士の情報交換の場としても大切な活動となっています。区民の健康意識の高まりを感じる一方で、まだまだ健康の悩みや医療に頼らない解決策について話せる場所が少ない現状があります。今年度も食と健康に関する情報を広めるとともに、より良い交流の場を提供してまいりたいと思います。</p>
4. 自主上映会の開催	<p>昨年開催した映画「いただきます」の上映会は、感動して涙を流される方も多く、とても良い上映会となりました。「食べたもので私たちの身体が出来ている」ということが実感でき、ママさんにとっても子育ての参考になる映画でした。今年度も区民の皆さんにとって有意義な映画の上映会を開催したいと思います。</p>
5. 勉強会の開催	<p>昨年開催した「縄文勉強会」は大変好評で、参加者からもう一度やって欲しいというお声を沢山いただきました。日本に生まれて良かったと言う感想も多く、郷土愛を育む一助となれたように思います。今年度もバージョンアップして開催したいと思います。</p>
6. 柿取りボランティアと柿酢・干し柿作りワークショップの開催	<p>区民の高齢化などに伴い、お庭の柿が自分では取れずに放置されているお宅があります。そう言うお宅の柿取りをして差し上げて、取った柿で柿酢や干し柿を作るワークショップを開催したいと思います。</p>
7. 味噌作り体験や野草散歩などのイベントの開催	<p>昨年実施した埼玉での味噌作り体験イベントは大好評でした。今年度はその知識を元に、杉並区内で味噌作りイベントを開催し、一才の添加物の入っていない安心安全で美味しい味噌が自分で簡単に作れることを、多くの皆さんに知っていただきたいと思います。また、善福寺川流域で食べられる野草を探しながらお散歩する等の楽しい野外イベントなども企画して行きたいと思います。</p>
8. 日本の農家さん、有機農業の応援による、食の知識の習得と普及	<p>昨年度に引き続き、機会があれば積極的に援農を実施し農家さんと繋がることで、食と健康についての情報収集と情報発信を行なってまいります。</p>

活動スケジュール（活動内容をご記入ください。フローチャートでも結構です。）	
時 期	活 動 内 容
令和7年4月	健康食の料理教室の開催 マップ、フリーペーパーの配布活動
5月	善福寺川野草散歩下見 マップ、フリーペーパーの配布活動
6月	健康食の料理教室の開催 自然栽培農家の応援（田植え）
7月	健康食の料理教室の開催 「すぎなみ発見クラブ通信」Vol.5 制作
8月	映画自主上映会 マップ、フリーペーパーの配布活動
9月	健康食の料理教室の開催 援農（稲刈り・野菜の収穫など）
10月	善福寺川野草散歩開催 柿取りボランティアと柿酢・干し柿作りワークショップ開催
11月	縄文勉強会の開催 健康食の料理教室の開催
12月	オーガニック・レストランでの食事会開催
令和8年1月	「すぎなみ発見クラブ通信」Vol.6 制作 健康食の料理教室の開催
2月	味噌作り体験イベント開催 健康食の料理教室の開催 マップ、フリーペーパーの配布活動
3月	健康食の料理教室の開催 今年度の振り返りと、次年度の活動計画の策定

令和7年5月26日

杉並区長 宛

代表者 軒先から、こんにちは実行委員会
氏名 山田 杏子

まちづくり助成金交付申請書

杉並区まちづくり助成要綱に基づく助成金の交付を受けたいので、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

団体名	軒先から、こんにちは実行委員会
	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
助成区分 (該当するものに○を付けてください。)	びぎなーコース ・ ○すてっぷコース じゃんぷコース ・ 協議会助成金
助成金の使用目的 及び事業内容	<p>【目的】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 住民が地域コミュニティへ自発的に参加する風土の醸成 2. 近隣に住む人達との緩やかなつながりが生まれることで、地域の防犯・防災面に寄与 3. 自分たちの住むまちの魅力を再発見し、住民のまちへの愛着を深める <p>【内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 住民参加型イベント「軒先から、こんにちは ナリタヒガシ」の開催 2. 上記イベント開催に向けた住民参加型「寄り合い」の開催
事業に要する総費用 予定額	¥70,000
助成金交付申請額	¥70,000
まちづくり協議会 認定年月日	年 月 日 (協議会助成金のみ記入してください。)
添付書類	<p>(1) 規約・会則 (びぎなーコースのみ提出してください。)</p> <p>(2) 構成員の名簿</p> <p>(3) 収支予算書</p> <p>(4) 事業予定書</p> <p>(5) その他 (事業計画書別紙)</p>

構成員の名簿

団体名称 及び 事務所所在地 (事務所ある 場合のみ)	ふりがな のきさき じっこういんかい 名 称 軒先から、こんにちは実行委員会		
	事務所 〒 所在地		Tel. Fax.
代表者	ふりがな やまだ きょうこ 氏 名 山田 杏子		
	住所*		Tel.*
	メールアドレス*		
連絡先 ※代表者と異なる 場合のみ記入し て下さい。	ふりがな 氏 名		
	住 所* 〒 メールアドレス*		Tel. *
活動メンバー ※記入欄不足の場 合は別紙を添付 して下さい。 ※名簿を添付する 場合は、「別 添」と記入して 下さい。	氏 名	グループの役職	職 業 等*
	山田 杏子	代表者	
	松岡 徹也	副代表	
	内藤 徹	副代表	
	古田 伸弥	会 計	
	松岡 久子		
	山田 慎平		
メンバー以外 の協力員等			

《注意》 すてっぷコースの申請書は、公開審査会で資料として配布します。
*印の欄については非公開とします。

収支予算書

《収入》

内 訳	金 額
会 費	0円
杉並区まちづくり助成金	70,000円
他からの助成金	0円
合計	70,000円

《助成金に係る支出》

実績報告書の提出時に領収書を添付する必要がありますので、ご注意ください。

内 訳	内 容	金 額	費用合計金額
(1) 学習活動費 講師謝礼、 学習会資料作成費、 会場使用料など		0円	0円
(2) 広報活動費 パンフレットや ニュース、報告書等 の作成費など	住民参加型イベント【軒先から、こんにちは】企画運営 ・製本印刷費： 出展説明会資料 出展者/町会配布ポスター等	10,000円	10,000円
(3) 事務運営 ・事業実施費 団体運営や事業実施 に必要な消耗品や備 品の購入費、郵送 など	住民参加型イベント【軒先から、こんにちは】企画運営 ・報償費：ノベルティ制作費 ・保険料：ボランティア保険 ・消耗品費：事務用品 ・製本印刷費： スタンプラリー台紙 ・オリジナルグッズ制作	24,000円 5,000円 3,000円 3,000円 25,000円	60,000円
※ <u>下線</u> が2024年度から広げたい活動によるもの（予定）			70,000円

※上記の費用の考え方

- (1) 学習活動費：講師謝礼、資料作成、会場使用などに要する経費
- (2) 広報活動費：パンフレットやニュースの発行などに要する経費
- (3) 事務運営費：団体の維持運営に必要な消耗品・備品の購入、郵便などに要する経費
事業実施費：事業に必要な消耗品購入、会場使用などに要する経費

事業計画書

	※詳細に記入してください。必要に応じて、図表、地図、イラスト、写真等の添付や、印刷物等の資料を提出いただいても結構です。
以下2企画の実施を通して、昨年に引き続き町内会との連携強化による地元住民への本活動の認知度向上及び住民の参加や出展につなげ、 <u>自走へのトライアル</u> をする年にしたい。	
1.住民参加型イベント【軒先から、こんにちは】	
開催：2025年10月5日(日) 11:00-16:00（予定） / 開催場所：杉並区成田東周辺	
開催内容：出展者の軒先等でのフリマ・ワークショップ・ <u>一芸・パフォーマンス</u> 等の出展、軒先巡りスタンプラリー	
参加者数(目標)：出展15組、来場者250人程度と、顔の見える規模感での定着を目指す。	
※2024年度実績：出展16組（新規2、経験者14／成田東事業者5、区内活動3、住民等個人8）、来場約200人 ※2023年度実績：出展22組（新規5、経験者17／成田東事業者7、区内活動6、住民等個人9）、来場約200人	
2.【寄り合い】 内容：軒先イベントの事前打合せ、地域に関するフリートークの場（※）	
（※）テーマ「実行委員による裏話」「成田東のおすすめスポット」など	
活動スケジュール（活動内容をご記入ください。フローチャートでも結構です。）	
令和6年4月	
5月	寄り合い①「今年のイベント計画（方針・実施概要決定）」
6月	寄り合い②「今年のイベント計画（告知準備）」
7月	順次、告知開始（2024年度は8月） 寄り合い③「今年のイベント計画（ノベルティ制作等）」
8月	寄り合い④「出展説明会準備」⑤「出展説明会」
9月	寄り合い⑥「開催前の最終ミーティング」
10月	軒先から、こんにちは ナリタヒガシvol.4 開催 寄り合い⑦「軒先イベント公開反省会 実行委員による裏話（仮称）」
11月	—
12月	—
令和7年1月	寄り合い⑧「振り返り・次年度目標検討会」
2月	—
3月	—

(事業計画書別紙) ※下線が2024年度から広げたい活動によるもの(予定)

【活動目的】

1. 住民が地域コミュニティへ自発的に参加する風土の醸成
2. 近隣に住む人達との緩やかなつながりが生まれることで、地域の防犯・防災面に寄与
3. 自分たちの住むまちの魅力を再発見し、住民のまちへの愛着を深める

【主な活動内容】

1. 住民参加型イベント「軒先から、こんにちは ナリタヒガシ」の開催
2. 上記イベント開催に向けた住民参加型「寄り合い」の開催

◎「軒先から、こんにちは」とは・・・まちに住む人たちとの出会いを楽しむ1日



軒先イベント2024での一コマ。スタンプラリーには多くの子どもたちや大人も参加。パブリックとプライベートの境界「軒先」を開放し、ワークショップ・フリマ等を開催。※メイン会場・運営本部「いんにっさん(シェアオフィス、レンタルスペース)」



軒先イベントの出展者は地域住民、店舗に加え、開催地域内の杉並区立成田図書館も参画(2022年～)。出展者募集やイベント開催告知については近隣幼稚園・保育園等にて掲示のほか、2024年にまちづくり団体登録をして区の後援をいただくことで、町内会から掲示や回覧のご協力もいただけた。まだ成田東エリア内でのイベント認知度に課題があるため、以下に取り組むことで、引き続き地域住民の参加や出展につなげていく。

◎軒先イベント2024開催後に実施した「寄り合い」の様子。テーマは「軒先イベント公開反省会～実行委員による開催ウラ話～」。参加者は実行委員メンバー、当日の出展者に加えイベント参加者も。あえて運営側と参加者の線引きを曖昧にすることで、軒先イベントの第一回、第二回に出展者として参加した住人が運営側にまわるなど、地域の人たちが自分のコミュニティに関わるきっかけの場、仕組みとして機能。参加者間の関係が深まるような運営につなげていく。



◎これまで助成金を活用させていただき企画運営をしてきた。イベントとしての型もでき、同じところを目指す運営チームもできたことから、運営の自走に向けたトライアルの年としたい。具体的には収入の軸を増やすことにチャレンジする。

①出展料をいただく(1組1,000円)：狙いとしては軒先イベントをつくる仲間としてのコミットメント・サポーターとしての会費と考える。そのため出展内容によらず一律料金。費用をいただく分、これまで以上に参加してよかった・イベントとしてパワーアップ・イベント終了後も出展者がこのまちの一員と感じられる仕組みづくり等、検討を進める。一芸・パフォーマンス出展枠も設け、出展の仕方を広げることで昨年の図書館の読み聞かせ企画のような短時間参加についても軒先出展と同時に募集告知をしていく。

②オリジナルグッズ制作及び販売(物は今後検討)：本イベントの特徴としてものづくりに携わる出展者にノベルティ制作を依頼してきた。クオリティが高く、スタンプラリーが完走できないため販売して欲しいという声もあった。グッズ収入を運営費に充てていきたい。

以上

令和 7年 5月 28日

杉並区長 宛

代表者 いぐさの赤い椅子
氏名 代表 中川 圭珣

まちづくり助成金交付申請書

杉並区まちづくり助成要綱に基づく助成金の交付を受けたいので、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

団 体 名	いぐさの赤い椅子
事 業 期 間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日
助成区分 (該当するものに○を付けて ください。)	びぎなーコース <input checked="" type="radio"/> すてっぴコース じゃんぷコース ・ 協議会助成金
助成金の使用目的 及び事業内容	まちの中に誰でも座って休める椅子を設置する活動。 ご家庭から譲り受けた椅子を赤く塗るための塗装や、 椅子の維持管理のための修理に必要な金具等の購入。
事業に要する総費用 予定額	¥70,000
助成金交付申請額	¥70,000
まちづくり協議会 認定年月日	年 月 日 (協議会助成金のみ記入してください。)
添付書類	(1) 規約・会則 (びぎなーコースのみ提出してください。) (2) 構成員の名簿 (3) 収支予算書 (4) 事業予定書 (5) その他 ()

構成員の名簿

団体名称 及び	ふりがな 名称 いぐさの赤い椅子 ^{あかいす}		
	事務所所在地 (事務所ある 場合のみ)	〒 所在地	Tel. Fax.
代表者	ふりがな 氏名 中川 圭珣 ^{なかがわ けいじゆん}		
	住所* 〒 メールアドレス*	Tel.	
連絡先 ※代表者と異なる 場合のみ記入し て下さい。	ふりがな 氏名 長嶋 朋子 ^{ながしま ともこ}		
	住所* 〒 メールアドレス*	Tel. *	
活動メンバー ※記入欄不足の場 合は別紙を添付 して下さい。 ※名簿を添付する 場合は、「別添」 と記入して下さい。	氏名	グループの役職	職業等*
	別紙参照		
メンバー以外 の協力員等	ケア24 下井草 長嶋朋子		

《注意》 すてっぷコースの申請書は、公開審査会で資料として配布します。
*印の欄については非公開とします。

いぐさの赤い椅子・協力者名簿

	役割	氏名	
1	代表	中川 圭珣	
2	副代表	中川 三郎	
3	会計	小川 都	
4	監査	田口 里美	
5		高田 いつみ	
6		中島 朋恵	
7		芝崎 妙子	
8		津田 糸美	
9		芦沢 久江	
10		山路 大輝	
11		山口 勇	

収支予算書

《収 入》

内 訳	金 額
会 費	¥0
杉並区まちづくり助成金	¥70.000
他からの助成金	¥0
合計	¥70.000

《助成金に係る支出》

実績報告書の提出時に領収書を添付する必要がありますので、ご注意ください。

内 訳	内 容	金 額	費用合計金額
(1) 学習活動費 講師謝礼、 学習会資料作成費、 会場使用料など			
(2) 広報活動費 パンフレットや ニュース、報告書等 の作成費など			
(3) 事務運営 ・事業実施費 団体運営や事業実施 に必要な消耗品や備 品の購入費、郵送 など	運送梱包費（イベント時の車両協力費） ペンキ × 8 ニス × 8 金具、木材、ビスなど消耗品	¥12.000 ¥3.000 ¥2.000 ¥18.000	¥ 12.000 ¥24.000 ¥ 16.000 ¥ 18.000
	合 計		¥70.000

※上記の費用の考え方

- (1) 学習活動費：講師謝礼、資料作成、会場使用などに要する経費
- (2) 広報活動費：パンフレットやニュースの発行などに要する経費
- (3) 事務運営費：団体の維持運営に必要な消耗品・備品の購入、郵便などに要する経費
事業実施費：事業に必要な消耗品購入、会場使用などに要する経費

事業計画書

活動内容	※詳細に記入してください。必要に応じて、図表、地図、イラスト、写真等の添付や、印刷物等の資料を提出いただいても結構です。
	<p>高齢者や子供連れ、誰もが休める赤い椅子を地域に設置する活動です。家庭で不要になった椅子を譲り受け、赤く塗り直しナンバーを貼って協力頂ける私有地に設置させていただいています。</p> <p>R4年に発足し丸3年経過、現在の設置数は28脚となりました。</p> <p>小学校の盆踊り、中学校のフェスティバルなど地域のイベントの際には赤い椅子を提供しお休み処として利用させていただいています。その際、スタッフは安全のための見守り、チラシを配布して広報活動を行っています。昨年に引き続き中瀬中学のボランティア部と共に椅子を作り、地域に設置する活動も調整中です。また多世代へのアピールの一つとして学童保育で夏休みのイベントとして赤い椅子づくりも計画しています。置き場に合わせてオリジナルな椅子を作成、既存の椅子をリメイクするなど、活動も本格化してきました。住民からの要望の高い遊歩道などへの設置も何とか実現したいと考えています。</p> <p>地域に親しまれる赤い椅子を今後も地域に増やしていきたいと思っています。</p>
<p>活動スケジュール（活動内容をご記入ください。フローチャートでも結構です。）</p>	
時 期	活 動 内 容
令和7年4月	第1水曜日・第3水曜日 定例作業 第1日曜日 井草の森プレイパークへ赤い椅子提供
5月	第1水曜日・第3水曜日 定例作業 第1日曜日 井草の森プレイパークへ赤い椅子提供
6月	第1水曜日・第3水曜日 定例作業 第1日曜日 井草の森プレイパークへ赤い椅子提供
7月	第1水曜日・第3水曜日 定例作業 第1日曜日 井草の森プレイパークへ赤い椅子提供
8月	第1水曜日・第3水曜日 定例作業 桃5小学校盆踊りへ赤い椅子提供 第1日曜日 井草の森プレイパークへ赤い椅子提供
9月	第1水曜日・第3水曜日 定例作業 既設の椅子の点検作業 第1日曜日 井草の森プレイパークへ赤い椅子提供
10月	第1水曜日・第3水曜日 定例作業 中瀬中学フェスタへ提供 第1日曜日 井草の森プレイパークへ赤い椅子提供
11月	第1水曜日・第3水曜日 定例作業 第1日曜日 井草の森プレイパークへ赤い椅子提供
12月	第1水曜日・第3水曜日 定例作業 第1日曜日 井草の森プレイパークへ赤い椅子提供
令和8年1月	第1水曜日・第3水曜日 定例作業 第1日曜日 井草の森プレイパークへ赤い椅子提供
2月	第1水曜日・第3水曜日 定例作業 第1日曜日 井草の森プレイパークへ赤い椅子提供
3月	第1水曜日・第3水曜日 定例作業 春休み学童クラブ赤い椅子づくり 第1日曜日 井草の森プレイパークへ赤い椅子提供

いぐさの赤い椅子マップ

2025.2 現在



- ② 祥月 (田口宅)
- ③ ジェルヤナギサワ
- ④ 仁神精米店
- ⑤ 榎本豆腐店
- ⑥ 下井草商店街組合
- ⑦ 中村薬局
- ⑧ 中村薬局
- ⑩ 西武信用金庫
- ⑫ 橋本時計店
- ⑬ 下井草駅南口
- ⑭ 下井草診療所
- ⑮ フェニックス杉並
- ⑱ サンシャイツクイ下井草
- ⑲ サンシャイツクイ下井草
- ⑳ しもいぐさ正吉宛
- ㉑ ゆうゆう下井草館 (入口)
- ㉒ 高田宅
- ㉓ 中川宅
- ㉔ しもいぐさ子育てプラザ
- ㉕ みんなのおうち
- ㉖ みんなのおうち
- ㉗ みんなのおうち
- ㉘ ゆうゆう下井草館 (スロープ)
- ㉙ ゆうゆう下井草館 (スロープ)



令和 7 年 5 月 28 日

杉並区長 宛

代表者 IKAMO 応援隊
氏名 代表 杉山 美知子

まちづくり助成金交付申請書

杉並区まちづくり助成要綱に基づく助成金の交付を受けたいので、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

団 体 名	IKAMO 応援隊
事 業 期 間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
助成区分 (該当するものに○を付けてください。)	びぎなーコース ・ <u>すてっぴーコース</u> じゃんぴーコース ・ 協議会助成金
助成金の使用目的 及び事業内容	① 地域の活性化を目指し、地域で楽しめる場所を発掘および発表会を企画・運営する。 ② 地域の名所等の紹介およびイベント開催。 ③ まちづくりディープマップ作成。
事業に要する総費用 予定額	70,000 円
助成金交付申請額	70,000 円
まちづくり協議会 認定年月日	年 月 日 (協議会助成金のみ記入してください。)
添付書類	(1) 規約・会則 (びぎなーコースのみ提出してください。) (2) 構成員の名簿 (3) 収支予算書 (4) 事業予定書 (5) その他 ()

構成員の名簿

団体名称 及び	ふりがな いかも おうえんたい 名称 IKAMO 応援隊		
	事務所所在地 (事務所ある 場合のみ)	事務所 〒 所在地	Tel. Fax.
代表者	ふりがな すぎやま みちこ 氏名 杉山 美知子		
	住所 Tel. メールアドレス*		
連絡先 ※代表者と異なる 場合のみ記入し て下さい。	ふりがな まつもと せい 氏名 松本 聖		
	住所 Tel. メールアドレス		
活動メンバー ※記入欄不足の場 合は別紙を添付 して下さい。 ※名簿を添付する 場合は、「別添」 と記入して下さい。	氏名	グループの役職	職業等*
	杉山 美知子	代表	
	中里 八重子	副代表	
	松本 聖	事務・会計	
	玉木 亜矢子	町内会担当	
	桔梗 芳明		
メンバー以外 の協力員等	潮来 みどり		

《注意》 すてっぷコースの申請書は、公開審査会で資料として配布します。
*印の欄については非公開とします。

収支予算書

《収 入》

内 訳	金 額
会 費	円
杉並区まちづくり助成金	70,000円
他からの助成金	0円
	0円
合計	70,000円

《助成金に係る支出》

実績報告書の提出時に領収書を添付する必要がありますので、ご注意ください。

内 訳	内 容	金 額	費用合計金額
(1) 学習活動費 講師謝礼、 学習会資料作成費、 会場使用料など	会場使用料 @3,000円×8回=24,000円 @1,400円×2回= 2,800円 演奏者謝礼 @1,000円×3人×3回 = 9,000円 @1,000円×8人 = 8,000円 講師謝礼 @5,000円×2回=10,000円	26,800円 27,000円	53,800円
(2) 広報活動費 パンフレットや ニュース、報告書等 の作成費など	ポスター・チラシ印刷費（音楽） @1,000円×6=6,000円 まち歩きディープマップ作製 資料作成費 @200円×1 = 200円 @500円×2=1,000円 チラシ印刷費 @1,000×2=2,000円 マップ印刷費(100枚)5,000円	6,000円 1,200円 2,000円 5,000円	14,200円
(3) 事務運営 ・事業実施費 団体運営や事業実施 に必要な消耗品や備 品の購入費、郵送 など	事務用品等購入	2,000円	2,000円
合 計			70,000円

※上記の費用の考え方

- (1) 学習活動費：講師謝礼、資料作成、会場使用などに要する経費
- (2) 広報活動費：パンフレットやニュースの発行などに要する経費
- (3) 事務運営費：団体の維持運営に必要な消耗品・備品の購入、郵便などに要する経費

事業実施費：事業に必要な消耗品購入、会場使用などに要する経費

事業計画書

活 動 内 容	※詳細に記入してください。必要に応じて、図表、地図、イラスト、写真等の添付や、印刷物等の資料を提出いただいても結構です。
	* 1年目で下地が出来てきたので更に良いものを提供できるイベントを開催する (『バイオリン演奏会』や『ひだまり』(男性中心)や『フミのながし』など)
	* 引き続き地域の介護施設への慰問(ボランティア) (施設の皆様にとって若い方たちとの交流で元気を貰っている)
	* 地域で楽しめる演奏会を企画・運営する(新しい演奏家の発掘も) (ギター演奏家の発掘が進んでいるので演奏会が出来るように進めたい)
	* この地域は、井荻村長・内田秀五郎さんの主導で碁盤の道が整備された所である。にもかかわらず土地の由来を知らない方たちも多いので勉強会をしながら『通りに名前をつける』を地域住民の皆さんに提案して名前の由来などそれぞれの気持ちを聞きながら心を繋いでいく
	* 『すぎなみフェスタ』へのエントリーに取り組む (『通りに名前をつける』企画アピールの為)
	* まち歩きディープマップ作成とまち歩き (たくさんあるどの通りに名前をつけるのかなど検討しながらマップを作成し、第一回まち歩きをする)
	* 町内会とタイアップして地域を盛り上げる (『食事会前のお楽しみ会』を数回開催予定。防災・初期消火の訓練『あなたならどうする?』)
	* 演奏会場の新規開拓 (地域のグループホームやすだちの里、会館など)
活動スケジュール (活動内容をご記入ください。フローチャートでも結構です。)	
時 期	活 動 内 容
令和7年4月	バイオリン演奏会(栗山ひろみ)
5月	昼食会前のお楽しみ会(ゆうゆう桃井) 新企画考案打合せ
6月	演奏ボランティア(グループホーム ウェルミー今川) 孝之丞のひだまり(さつき)
7月	昼食会前のお楽しみ会(ゆうゆう桃井) フミのながし(石橋亭) 内田秀五郎と井荻村まちづくり勉強会(ゆうゆう桃井)
8月	ウクレレとフラダンス(ゆうゆう桃井) ギターで歌おう①
9月	なあなあ's演奏会 中大杉並高校合唱部による訪問(ケアハウス今川桃井)
10月	あなたなら どうする?(消防署 or ゆうゆう館) ディープマップ作成準備
11月	すぎなみフェスタ参加 ギターで歌おう
12月	ケアハウス24(正吉苑)、クリスマスコンサート 『通りに名前をつける』選考会
1月	『通りに名前をつける』名前決定発表会 ディープマップ作成
2月	ディープマップで歩こう
3月	ギターで歌おう②

令和 7年 5月30日

杉並区長 宛

代表者 阿佐ヶ谷の原風景を守るまちづくり協議会
氏名 代表 島田 昭仁

まちづくり助成金交付申請書

杉並区まちづくり助成要綱に基づく助成金の交付を受けたいので、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

団 体 名	阿佐ヶ谷の原風景を守るまちづくり協議会
事 業 期 間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日
助成区分 (該当するものに○を付けてください。)	びぎなコース ・ すてっぴコース じゃんぷコース ・ 協議会助成金
助成金の使用目的 及び事業内容	<p>1. 助成金の使用目的 阿佐谷地域に残る文士村ゆかりのたたずまいや屋敷林は、都市環境における貴重な景観と緑地であり、パブリック・ヒストリーであることはいうまでもなく、生物多様性の保全、気候変動の緩和、地域住民の憩いの場としても重要な役割を果たしています。しかし、近年、開発による超高層集合住宅の乱立や樹木の伐採、緑地の縮小が進んでおり、阿佐谷地域の景観と生態系への影響が懸念されています。本助成金は、景観や緑地の保全に向けた啓発活動を推進し、樹冠被覆率の向上を目指す学習会の運営費用として使用します。</p> <p>2. 事業内容 本事業では、以下の活動を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習会の開催 地域住民や関心を持つ方々を対象に、文士村や屋敷林の歴史・生態系の重要性を学ぶ講座を開催。専門家を招き、持続可能な緑地保全の方法について議論します。 ・ フィールドワーク 景観や緑地、旧河川・水路の現状を把握し、樹冠被覆率や生態系、土壌や水質の調査を実施。住民参加型の環境保全活動の可能性を模索します。 ・ 広報活動 学習会の成果をまとめ、パンフレットや SNS を通じて地域に情報発信。環境保全に対する意識を醸成します。 <p>3. 期待される成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民の環境意識の向上と緑地の保全の取り組みの活性化 ・ 樹冠被覆率向上のための取り組みの基盤形成（いこいの森制度の普及等） ・ 持続可能な環境保全意識の次世代への継承
事業に要する総費用 予定額	148,500 円
助成金交付申請額	70,000 円

まちづくり協議会 認定年月日	年 月 日（協議会助成金のみ記入してください。）
添付書類	(1) 規約・会則（びぎなーコースのみ提出してください。） (2) 構成員の名簿 (3) 収支予算書 (4) 事業予定書 (5) その他（ ）

構成員の名簿

団体名称 及び	<small>あさがやのげんふうけいをまもるまちづくりきょうぎかい</small> 名称 阿佐ヶ谷の原風景を守るまちづくり協議会		

事務所所在地 (事務所ある 場合のみ)	事務所 〒	Tel. Fax.	
代表者	<small>しまだ あきひと</small> 氏名 島田 昭仁		

	住所*同上 〒	Tel. *	
	メールアドレス*		
連絡先	<small>ふりがな</small> 氏名		

※代表者と異なる 場合のみ記入し て下さい。	住所* 〒	Tel. *	
	メールアドレス*		
活動メンバー	氏名	グループの役職	職業等*
	島田 昭仁	代表	
	池上 敦子		
	加古 晴子		
	達 百合		
	野田 茂則		
	吉田 洋		
※記入欄不足の場 合は別紙を添付 して下さい。			
※名簿を添付する 場合は、「別添」 と記入して下さい。			
メンバー以外 の協力員等			

《注意》 すてっぷコースの申請書は、公開審査会で資料として配布します。
 *印の欄については非公開とします。

収支予算書

《収 入》

内 訳	金 額
会 費	60,000 円 (イベント資料代)
杉並区まちづくり助成金	70,000 円
他からの助成金	—
寄付金等	18,500 円
合計	148,500 円

《助成金に係る支出》

実績報告書の提出時に領収書を添付する必要がありますので、ご注意ください。

内 訳	内 容	金 額	費用合計金額
(1) 学習活動費 講師謝礼、 学習会資料作成費、 会場使用料など	報償費：9月学習会講師謝金 報償費：12月学習会講師謝金 報償費：2月学習会講師謝金 報償費：フィールドワーク謝金×2回 使用料：9月学習会会場費 使用料：12月学習会会場費 使用料：2月学習会会場費	4,100 円 7,000 円 7,000 円 3,000 円 3,800 円 3,800 円 3,800 円	32,500 円
(2) 広報活動費 パンフレットや ニュース、報告書等 の作成費など	印刷製本費：学習会案内チラシ×3回 印刷製本費：フィールドワーク案内チラシ×2回 印刷製本費：学習会資料印刷費×3回 印刷製本費：フィールドワーク・パンフレット印刷費×2回	6,000 円 8,000 円 6,000 円 6,000 円	26,000 円
(3) 事務運営 ・事業実施費 団体運営や事業実施 に必要な消耗品や備 品の購入費、郵送 など	保険料：イベント保険（フィールドワーク用）×2回 消耗品費：フィールドワーク用耐水名札シール（A4サイズ×10シート）×2回	10,000 円 1,500 円	11,500 円
合 計			70,000 円

※上記の費用の考え方

- (1) 学習活動費：講師謝礼、資料作成、会場使用などに要する経費
- (2) 広報活動費：パンフレットやニュースの発行などに要する経費
- (3) 事務運営費：団体の維持運営に必要な消耗品・備品の購入、郵便などに要する経費
事業実施費：事業に必要な消耗品購入、会場使用などに要する経費

事業計画書

活 動 内 容	※詳細に記入してください。必要に応じて、図表、地図、イラスト、写真等の添付や、印刷物等の資料を提出いただいても結構です。
1. 学習会の開催	年4回実施（うち助成金対象は令和7年9月、12月、令和8年2月の3回）の予定。学習会の具体的日程及び会場は未定。資料代として500円/人を徴収予定。
	各回テーマ（予定）：9月「ツミを呼び戻そう」、12月「阿佐谷地域の樹冠被覆率を守ろう」、2月「阿佐谷地域の地下水を守ろう」
2. フィールドワークの開催	年2回実施（令和7年11月、令和8年1月）の予定。資料代として500円/人を参加費として徴収予定。
	・各回テーマと行程（予定）11月「阿佐谷の原風景・屋敷林見学ツアー」 【目的】阿佐谷と所縁のある鎌倉街道に沿って、成田西3丁目の熊野神社から阿佐谷北5丁目の渡辺の森まで、地域の歴史を学び屋敷林について学習する。 【行程】10:30 集合 熊野神社 →11:00 杉並区役所 →11:20 神明宮 →11:30 渡辺の森見学 →12:00 馬橋公園でクロージング（12:15 解散予定）
	・各回テーマと行程（予定）1月「旧桃園川追跡ツアー」 【目的】旧桃園川に沿って、馬橋稻荷神社から天沼八幡神社まで、地域の歴史を学び地下水脈の賦存について学習する。 【行程】10:30 集合 馬橋稻荷神社 →11:00 阿佐谷地域区民センター →11:30 阿佐谷中央公園 →12:00 慈恩寺 →12:30 天沼八幡神社でクロージング（12:45 解散予定）
活動スケジュール（活動内容をご記入ください。フローチャートでも結構です。）	
時 期	活 動 内 容
令和7年6月	6/14 公開審査会(11:00~)
9月	(予定) 学習会の開催 「(仮題) ツミを呼び戻そう」
10月	10/11 秋の交流会
11月	(予定) フィールドワークの開催 「(仮題) 阿佐谷の原風景・屋敷林見学ツアー」
12月	(予定) 学習会の開催 「(仮題) 阿佐谷地域の樹冠被覆率を守ろう」
令和8年1月	(予定) フィールドワークの開催 「(仮題) 旧桃園川追跡ツアー」
2月	(予定) 学習会の開催 「(仮題) 阿佐谷地域の地下水を守ろう」
3月	3/7 活動報告会

令和7年度 まちづくり助成応募団体一覧

コース	団体名 代表者	事業内容	備考
すてっぷ	すぎなみ発見クラブ	杉並区民の健康意識を高め、病気や精神疾患の原因の一つである食と健康に関する啓蒙活動を行うため、健康食マップの作成、フリーペーパーの発行、料理教室の開催、映画上映会などを実施。 杉並や日本の文化について、ワクワクするような情報発信や勉強会を開催。その他にも、メンバーが考える杉並区民の健康と明るい生活のための活動を様々な分野で行っていく。	5年びぎなー 6年すてっぷ 7年すてっぷ
	軒先から、こんにちは実行委員会	住民参加型イベント「軒先から、こんにちはナリタヒガシ」とイベント開催に向けた住民参加型の「寄合い」の開催。	5年びぎなー 6年すてっぷ 7年すてっぷ
	いぐさの赤い椅子	まちの中に誰でも座って休める椅子を設置する活動。 ご家庭から譲り受けた椅子を赤く塗るための塗装や、椅子の維持管理のための修理に必要な金具等の購入。	5年びぎなー 6年すてっぷ 7年すてっぷ
	IKAMO応援隊	地域の活性を目指し、地域で楽しめる場所を発掘および発表会を企画・運営する。 地域の名所等の紹介およびイベント開催。 まちづくりディープマップ作成。	6年びぎなー 7年すてっぷ
	阿佐ヶ谷の原風景を守るまちづくり協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・学習会の開催 地域住民や関心を持つ方々を対象に、文士村や屋敷林の歴史・生態系の重要性を学ぶ講座を開催。専門家を招き、持続可能な緑地保全の方法について議論する。 ・フィールドワーク 景観や緑地、旧河川・水路の現状を把握し、樹冠被覆率や生態系、土壌や水質の調査を実施。住民参加型の環境保全活動の可能性を模索する。 ・広報活動 学習会の成果をまとめ、パンフレットやSNSを通じて地域に情報発信。環境保全に対する意識を醸成する。 	7年すてっぷ
びぎなー	ファルマクラブ ー薬と健康ー	自分の健康は自分で守る、健康リテラシーの意識が高い街づくりを目指す。薬や健康リテラシーの啓発に特化した活動を進めたい。 講演活動や誰もが気軽に楽しめるバンド演奏を通して、多くの方に健康や薬との向き合い方を伝えたい。	7年びぎなー
	ひきこもりピア活動 MLFO	ひきこもり当事者・経験者・そのご家族などが安心安全に気持ちを分かち合える集まりや、自分自身を大切にする考え方を共有する会、ダンスなどによる表現活動をする会への参加を通して自分らしく人生をより楽しむ力を伸ばすことを目的とする。	7年びぎなー